



柳迫小「3つのタネ」

あいさつ

ボランティア

学び合い



【学校HPへのQRコード】〒899-8606 曾於市末吉町深川3669番地5 ☎76-1127 <http://yanagizako.synapse-blog.jp> 【ブログへ直接飛ぶQRコード】

「ペイ・フォワード」

校 長 佐藤 義明

保護者の皆様はいかがでしょうか。私は、週末に届く各学年の学級通信を楽しみにしています。授業の進捗状況や学習内容を確認できるのは勿論のこと、現在の各学級での子供たちの様子や担任の思い等をうかがい知ることができるからです。ご家庭でも、子供たちと話をしたり、一緒に考えたりする契機としていただけますと幸いです。さて、そんな折、面白いタイトルの子供の日記文を見つけました。

「ぼくが校長先生だったら」

ぼくが校長先生だったら、午前授業にしたいです。
そして、給食はマクドナルドにします。
他にも、席がえを一週間に一回したいです。
宿題を全部なくしてあげたいです。

素直で率直な日記に、とてもうれしくなりました。

もう、5年以上前になりますが、ある中学校（当時）のカリスマ校長の学校改革が話題になりました。『学校の「当たり前」をやめた。』という著書が、マスコミや教育雑誌等でも随分取り上げられましたので、皆様もご存知のことと思います。実際、宿題や定期考査・固定担任制等も廃止しました。最近では、東京都渋谷区は、「授業時数特例校制度」を活用し、教科学習の時間を1割減らし、従来の総合的な学習の時間を年間70時間から約150時間に拡大し、探究「シブヤ未来科」としました。これにより、区内全公立小・中学校において午前は主に国語や算数等の教科学習、午後は探究的な学びが展開されています。まるで、この日記文のような教育活動が実際に行われており、次期学習指導要領下では、より一層、活発に学校の独自性が問われることになりそうです。ところで、これらの実践が優れている点は、いずれも、「主体性」と「当事者意識」を育もうとする明確な上位目標があるからです。宿題をなくしたり、テストをなくしたりなどは、手段の一つでしかありません。学校（教職員・児童生徒）・家庭・地域がそれぞれの立場でビジョンを共有し、その意味を理解した上で初めて効果的なものになるのでしょうか。ここに、「放任」との違いがあります。いずれにしろ、本質を見失わず、今あること、今行われていることが、本当に当たり前か？を問う姿勢はこれからも鍵となりそうです。

今年も児童総会を開催します。主なねらいは、これまで大人目線で示されていた「柳迫のよい子（本校の校則みたいなもの）」を、子供目線（当事者意識）で捉え直すことにあります。つまりそれは、当たり前を問い直す視点を育むことです。昨年度は、「使い捨てカイロの使用を認めて欲しい」という意見が出され、「自分で管理する」ことを前提に使用を認めています。子供たちには、獲得した「権利」に伴う「責任」や果たすべき「義務」についても同時に学んで欲しいと思っています。今年はどうのような改善案が出されるか、今から楽しみです。

さて、本校では、上位目標に「他者理解」と「創造する力」を据えています。3つのタネ「あいさつ・ボランティア・学び合い」「落語で笑い教育・ええやん」などは、それぞれが目標ではなく実現手段の一つです。「学校ではどんなあいさつを推奨しているの？あなたはできているの？」ご家庭でも機会を捉え、子供たちに問いかけ、そして共に実践してみてください。

いよいよ2学期も終盤にさしかかります。マクドナルドの給食実施は、無理かもしれませんが、**幸せの連鎖**が生まれる教育活動を目指して、これからも、頑張ってまいりたいと思います。

待ってました♪かけるさん来校！「ええやん～落語で笑い教育～」



「よっ、待ってました！」「日本ー！」楽しいかけるさんトークから「落語」の世界に引き込まれ…子供たちはもちろん、大喜び♡自分たちも小咄（こばなし）に挑戦！ステージの上でも、堂々と発表しました。すごい！上学年はペアで「英語で小咄」にも挑戦しましたよ。

かけるさんからは「ええやん～落語マインド～」の言葉のシャワーをたくさんいただきました。

「あなたの性格は、あなたが使っている言葉から作られる。」「嫌だ、めんどくさい、やりたくない…ではなく、やってみよう！チャレンジしてみよう！楽しもう！おもしろがってみよう！の気持ちが大切」「人を傷つける笑いではなく、人を楽しませる笑いを考えよう。」「人は違って当たりまえ。いろいろな人がいて当たりまえ。落語の世界では、そんな人がいて、いいよね、おもしろいよね…違いを認め合う、笑いに変える世界」…子供たちの心に、きっと届いたと思います。



かけるさんにきいたこばなしを、おうちでパパとママにはなそうとしたら、とちゅうでわすれちゃいました。「わすれちゃっても『ええやん！』って、みんなでいいました。たのしかったです。ありがとうございました。

（1ねん TK）

☆入賞おめでとう☆

○ 県社会科作品展（県審査）

努力賞 5年 HY

○ JA ポスターコンクール

佳作 4年 KM

○ 市理科作品審査

特選 1年 SY HN

4年 KM SY

5年 MR

6年 HH MU

入選 1年 MM

2年 SR

5年 MT

6年 IH SH

○ 税に関する硬筆・書道コンクール

議会議長賞 2年 YM

副市長賞 6年 KK

入選 6年 MU



ふるさとを知ろう（出前授業）

～ふるさとキャリア教育～

市文化財担当者による出前授業が6年生で行われました。全5回の出前授業を通して、6年生の子供たちは、ふるさと曾於市の歴史や史跡について、詳しく学ぶことができました。実物を見たり、触れたりする体験も大変貴重なものでした。

これまで講師として来てくださった、曾於市教育委員会生涯学習課文化財系の皆様に感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



12月の主な行事

1日(月) 命の教育の日 安全点検

人権週間（～5日）

3日(水) 持久走大会

学校保健委員会・学級PTA

4日(木) SC 新留先生来校 教育相談

SOS の出し方授業（5・6年）

6日(土) 県P委嘱公開（錦江町文化センター）

8日(月) 文化芸術公演（バレエ団来校）

10日(水) さんぺい号来校（返却のみ）

薬物乱用防止教室（6年）

11日(木) 出前授業（主権者教育・6年）

13日(土) 土曜授業・餅つき大会（5年）

19日(金) 門松づくり（6年）

22日(月) スマホ安全教室（1～3年）

23日(火) スマホ安全教室（4～6年）

24日(水) 終業式 大掃除

※給食あり

25日(木) 冬季休業・さんぺい号来校

10月の「いじめアンケート」結果

10月のいじめ認知件数は1件でした。友達と一緒に遊びたいけれど、仲間に入れてもらえない…はずされてしまう…それが続いている辛い…という内容でした。

全職員で状況を共有し、その子供が1人になって寂しい思いをすることがないように、見守りを続けています。また、本人がなかなかサインを出しづらい状況もあったようです。

12月4日(木)には5・6年生、2月6日(金)には3・4年生向けにSC新留先生から「SOSの出し方」についての授業をしていただく予定です。